



六月の異名 | 水無月(みなづき)/風待月(かぜまちづき)/田無月(たなしづき)
鳴神月(なるかみづき)/季月(きつき)

6月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

6月の行事・祝日
1日(日)衣替え
11日(水)入梅
15日(日)父の日

気づくと田んぼには水が張られ、幼い稲苗が整然と列をなしている。今年は梅雨が長いから、冷夏になるのか。自然に逆らうことはできないが、無事に豊作の秋を迎えることができるようにと、農作物を作る人は日々の天気が気になるだろう。

この時期の旬の食材は何だろうかと調べていたら、こんな言葉に出会った。

春は芽のもの 夏は葉のもの
秋は実のもの 冬は根のもの

春は木の芽やたけのこ、山菜など、デトックス効果のある「芽のもの」をいただき、体内毒素を外に出す。夏は日を浴びて育ったほうれんそうやモロヘイヤなど「葉のもの」をいただく。実りの季節、秋はさつまいもや栗、かぼちゃなど。そして、冬は栄養を蓄えた根菜類や体を温めてくれる野菜、大根、白菜、里芋など。旬をいただくことは、健康につながる。理にかなった古人の知恵に、大きくうなずく。

制服も衣替えになり、夏に向けて心身ともに切り替えが必要となるこの時期。旬の食材をうまく取り入れ、うっとうしくも農作物には天の恵みである雨の季節を乗りきりたい。



特集

平成26年度の酪農事業の取り組みについて

畜産酪農部

平成25年度の本県生乳生産量は、210,421t(前年比98.3%)となりました。
全国的に生乳生産量が減少していることから、特定乳製品向けの処理量が減少し、原料乳製品市場ではバター脱脂粉乳がひっ迫した状況にあります。
こうしたなか、平成26年度は、中央酪農会議より前年実績比102.4%の生乳計画生産供給目標数量が示されています。
本会は、これらの状況を踏まえ、本県生乳生産基盤の維持・拡大を図ることを最優先課題とし、以下の対策に取り組めます。

純情産地発
クララ
vol.779

KLARA

2014
6

タイトルのKlara(クララ)は、宮沢賢治の手帳に記されている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。

みんなの力で!
がんばろう!岩手
純情産地いわて

contents

季節をめぐる 四季折々	02	いわて純情むすめ卒業	09
特集 平成26年度の酪農事業の 取り組みについて	03	農業勇士の熱き情熱「AGRICULTURE!」	10
食財王国いわてで発「いただきま〜す!」	06	NEWS ワイドアングル	12
みんなの分教場	07	イーハトーブの担い手便り	14
各部発直行使 TOPICS	08	純情人	15
		インフォメーション	15



若手の酪農家に出演していただきました！みんなイケメンです！

▲TVCM 「グビッとミルク応援団」篇

4. 安全・安心な県産牛乳の生産と供給の実施

(1) 農家における生乳生産管理チェックシートの記載状況を検証します。

全戸の農家を対象に、農協、関係機関の協力を得ながら、年3回程度の検証作業（巡回による記載状況の確認）を実施し、洗剤、殺菌剤の適正使用、薬剤等の残留防止の徹底を図ります。

2. 乳質改善事業および生産性向上対策の実施

(1) 乳質向上対策

全生産者を対象とした生乳（バルク乳）のモニタリング検査を実施する。

細菌の種類、乳房炎原因菌の特定を行い、搾乳機器

1. 生乳生産基盤対策（乳用種雌牛資源確保対策）の実施（概要）

1. 乳用種初妊牛導入対策事業

- (1) 北海道産乳用種初妊牛（ホクレン経由登録牛）：21,600円（税込）
 - (2) 岩手県産乳用種初妊牛（本会市場経由登録牛）：16,200円（税込）
- 但し、助成対象は1農家30頭を上限とする。

2. 搾乳牛舎増設助成事業（新規）

助成金額：搾乳牛床の増設1頭分につき108,000円（税込）
 （ただし5頭以上の増設で上限20頭分まで）

3. 乳用種雌雄判別精液利用助成事業

助成金額：1頭当り2,160円（税込）

4. ホルスタイン種受精卵移植利用助成事業

全農ET研究所のホルスタインX受精卵、優良受精卵への助成
 助成金額：1個当たり10,800円（税込）

5. 岩手県産乳牛優良遺伝子流通事業

県内酪農家で保有している優良乳用雌牛の子孫の増産と他酪農家への流通を目的に、優良雌牛からの採卵並びに採取された受精卵の販売を促進する。

- (1) 採卵農家への助成：1回54,000円（税込）
- (2) 受精卵購入農家への助成：受精卵価格の1/2（税込上限27,000円）

※以上、事業内容の詳細については、近日中にJAあて通知の予定です。

の洗浄と殺菌、搾乳方法の改善、有効な乳房炎対策の提案を行う。

関連対策…ミルキングシステム改善推進事業…20%助成

乳質事故防止機器導入推進事業…162000円（税込）の助成（新規）

(2) 乳成分向上対策

農家に対する飼養管理指導を実施する。

(3) 生産性向上対策

農家等に対して生産性向上に関する総合的な技術指導を実施する。

関連対策…暑熱対策強化事業（換気システム導入）…20%助成

(4) 各種研修会の開催、農家向け酪農技術カレンダー等を配布する。

3. 酪農理解醸成活動と消費拡大事業の実施

東北生乳販連では、飼料価格の高騰や円安の進行など生産コストは依然として高止まりにあることや、TPP交渉の先行き不透明感等を勘案し、生産者が安定的に経営継続できるように生乳の生産コストを的確に反映した価格を前提とする内容で、乳業者に対し平成26年度生乳取引価格について申し入れをしています。

生産者乳価値上げのためには、量販店等における小売価格への転嫁が必要であることから、牛乳の小売価格の適正化についての理解醸成活動に取り組んでいます。

また、「いわての牛乳」のPR活動として、各種イベント、キャンペーン等の消費拡大事業や県内の小学校を対象とした「出前授業」に引き続き取り組み、岩手で生産された「いわての牛乳」の力（栄養価・効能）の理解を促進し、より身近な飲料としてのイメージ構築を目指します。

6月1日は牛乳の日・6月は牛乳月間

世界的にはFAO(国際連合食糧農業機関)が2001年より、6月1日をWorldMilkDay(世界牛乳の日)とすることを提唱しています。日本もこれに合わせる形で、6月1日を「牛乳の日」としています。

クイズに答えて、素敵な賞品を貰っちゃOh!!

いわての牛乳月間

キャンペーン

2014年6月1日～6月30日

Iwate Milk Campaign 2014

パソコン・携帯からホームページで裏面記載のクイズに解答。全問正解で応募フォームへ。また、店頭にある専用はがきや郵便はがきからも応募いただけます。

正解者の中から抽選で合計100名様に素敵な賞品をプレゼント!

2名様

A賞

PlayStation 4
ジェット・ブラック

3名様

B賞

フィリップス
ノンフライヤー

5名様

C賞

ふとんクリーナー
レイコップRS

10名様

D賞

JCBギフトカード
5,000円

20名様

E賞

乳製品
詰め合わせ

60名様

Wチャンス賞

冷凍庫で凍らせて牛乳と混ぜるだけ
大塚食品 シャーベ

クイズ

1 6月1日を国際連合食糧農業機関では何の日として提唱していますか？

2 牛のお乳をしぼるのは1日に何回でしょうか？

3 牛乳を加熱すると栄養素であるカルシウムはどうなるでしょうか？

1 アイスクリームの日

2 生クリームの日

3 牛乳の日

1 1回

2 2～3回

3 5～6回

1 増える

2 減る

3 ほとんど変わらない

WEBで応募

●パソコンから ●ケータイから

<http://www.junjo.jp/>

JA 全農いわて

●クイズの答え

- 希望賞品
- 郵便番号
- 住所
- 氏名
- 電話番号

郵送で応募

クイズの答え、希望賞品、必要事項（郵便番号、住所、氏名、電話番号）をご記入の上、右専用はがき又は郵便はがきで「牛乳月間キャンペーン」事務局までお送り下さい。

〒020-0022 岩手県盛岡市大通1丁目11番2号
牛乳月間キャンペーン事務局【(株)岩手広告社内】まで

●当選発表：ご応募いただいた方の中から厳正なる抽選の上、賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。（抽選は7月中旬予定）

●応募はパソコン・携帯電話・ハガキからに限らせていただきます。

●応募資格：岩手県および隣県（青森県、秋田県、宮城県）在住の方に限らせていただきます。

※応募はお1人様1回限りとさせていただきます。2回目以降の応募は無効となります。

※個人情報取得：お預かりした個人情報につきましては、賞品の発送のみに使用いたします。お客様の承認なく第三者に開示・提示いたしません。

※ご注意：賞品がメーカーの都合により生産中止となった場合は現行相当品に変更させていただきます。ご了承ください。



牛乳普及協会主催で昨年度も開催し、多くの応募をいただきました。

◀第23回小学生による「牛乳大好き」絵のコンクール
 金賞（審査委員長特別賞）「牛乳1今日の牛乳もおいしいよ」
 九戸村立戸田小学校 4年 中澤みなみさん

みんなの分教場



営農対策部 営農技術課
技術主管
高橋 伸夫

岩手の大豆をリードする 新品種「シュウリュウ」

①主莖長がやや短くガッチリした草型で倒伏しにくい。そのため、機械収穫時のロスが少ない。

品種の特性

品質の良さを意味したものと云われています。名前の由来は、優秀の「秀」と「粒」を表し、品質の良さを意味したものと云われています。

岩手県農業研究センターでは早くからこの東北166号が県産大豆の主力品種になるものとみて、センター内の栽培試験と同時並行で現地実証圃を設け、直接生産農家から新品種の評価を聞くとともに、豆腐加工メーカーの協力を得て加工試験を行い、両者からの高い評価を得て平成26年2月に県の奨励品種に採用されました。



開花期のガッチリとした生育



現地圃場の倒伏
(上シュウリュウ、下リュウホウ)

(資料・写真提供:岩手県農産園芸課、岩手県農業研究センター)

新品種「シュウリュウ」の開発

シュウリュウ(東北166号)は、(独)農研機構東北農業研究センター大仙研究拠点(秋田県大仙市)で高品質の大粒大豆品種を目標に、極大粒の東北143号と病気に強くタンパクの多い刈系675号の交配から育成されました。

大豆の低収要因は、湿害、PHが低いこと、雑草害等が挙げられ、現在の主力品種のリュウホウは、しわ粒、裂皮粒の発生、ナンブシロメは小粒化、未熟粒、倒伏などの課題もあり、全県の品質も低位にあります。

県産大豆は主に豆腐原料向けられますが、実需者からは製品歩留まり(大粒)、豆腐加工適性(高タンパク、良食味)の良いたものが求められています。

岩手の大豆の現状

本県の大豆は平均単収119kg/10aと全国(171kg)、東北(140kg)に比べ低収で生産が不安定な現状にあります。特に、昨年は天候の影響などもあって、単収84kg/10aとなりました。

大豆の低収要因は、湿害、PHが低いこと、雑草害等が挙げられ、現在の主力品種のリュウホウは、しわ粒、裂皮粒の発生、ナンブシロメは小粒化、未熟粒、倒伏などの課題もあり、全県の品質も低位にあります。

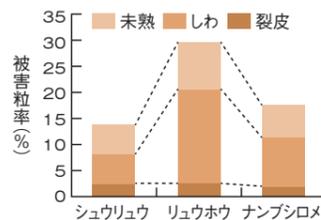
- ② 収量は主力のナンブシロメ、リュウホウに比較して多収で、品質も、しわ粒、裂皮粒、未熟粒が少なく良質で粒が大きい
- ③ 豆腐加工適性が優れ、製品の食味が良い
- ④ 方、ダイズシストセンチュウ抵抗性が「弱」のためブロックローテーションにより連作を避ける
- ⑤ 除草剤ベンタゾンに対する薬害が発生する。(大豆の葉齢が小さい時期の散布ほど薬害による減収割合が高いため、曇天時の散布を心がける。)

今後の普及拡大に向けて

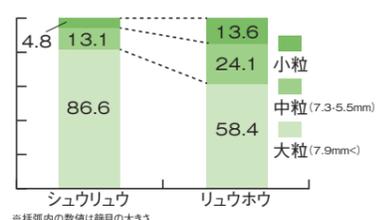
大豆の低収要因は、品種を変えただけでは解決しないのは明らかです。まずは①暗渠、明渠の施工、小畦立て播種法による湿害軽減②石灰質資材等の施用による適性PHへの改良③適期の雑草防除、病害虫防除の実施など水田大豆の基本技術があつて初めて新品種「シュウリュウ」の品種特性が発揮され、収量300kg/10aを超える多収で良質の大豆生産が期待できます。

本年は、大規模な現地実証圃が県内5箇所(約20ha)で進められ、本格的な種子配布は27年産用から始まりますので、各地の実証圃場を今のうちからよく観察して新品種導入の参考にして下さい。

■図-1 被害粒割合(農研センターH22~25)

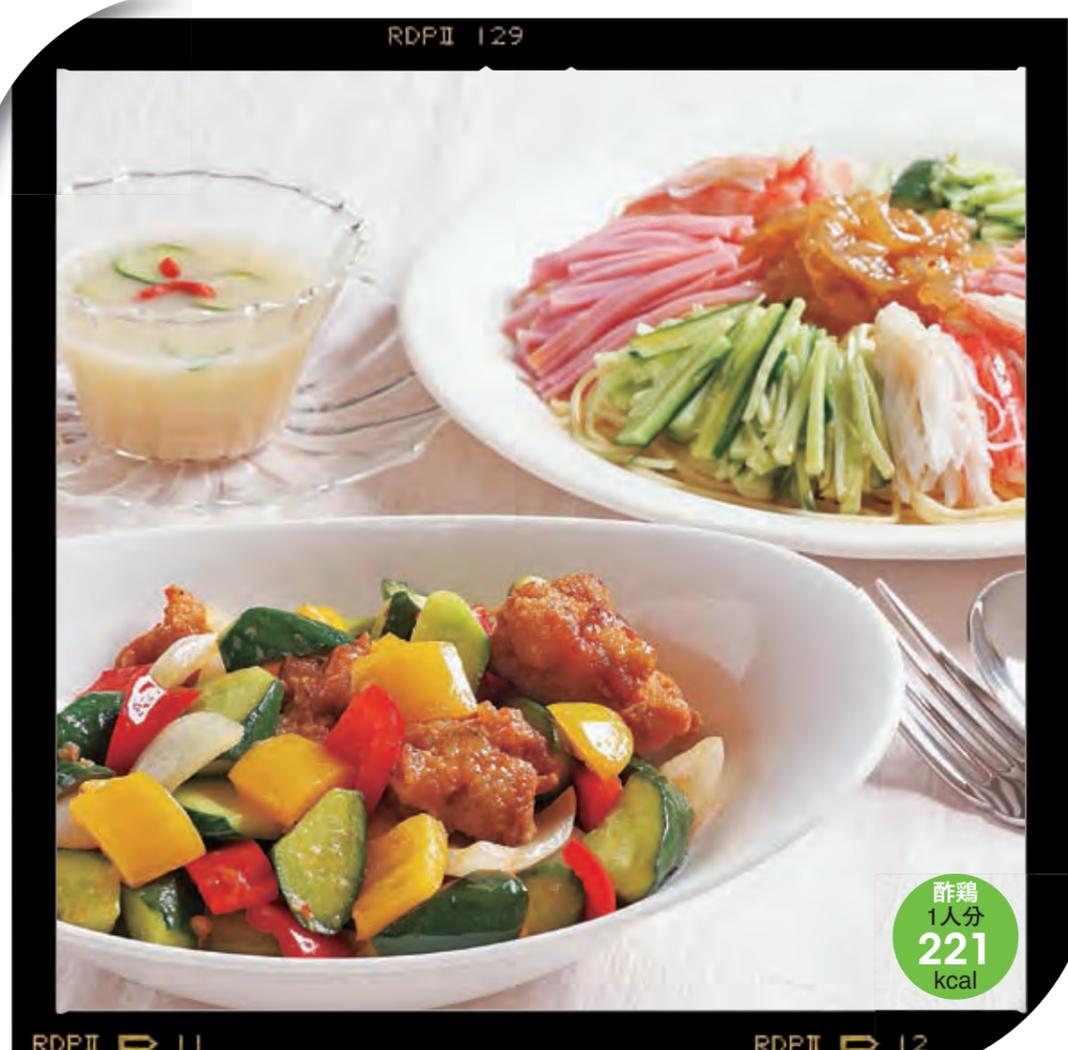


■図-2 粒大の比較(農研センターH22~25)



■表 農業研究センター調査成績・北上、畑地(平成22年~25年)

品種	成熟期(月・日)	主莖長(cm)	着莢高(cm)	倒伏	子実重(kg/10a)	同左比(%)	百粒重(g)
シュウリュウ	10.8	45	10.1	1	326	108	34.7
リュウホウ	10.2	47	10.7	3	301	100	31.8
ナンブシロメ	10.12	46	8.4	3	256	85	23.7



酢鶏 1人分
221 kcal

梅雨を元気に過ごすために 簡単に作るヘルシー中華料理「酢鶏」

作り方

- 鶏肉をAの調味料で下味をつけ、小麦粉をまぶし、から揚げにする
- きゅうりは塩で板ずりして乱切り、パプリカは1.5cmの色紙切り、玉ねぎは4つ割りの樹形に切る
- 油を熱して②をさっと炒め、①とBの調味料を加え、水溶性片栗粉でとじる

栄養ポイント

日本では生食が大半のきゅうり。でも、中華料理には炒めて使うメニューも多い。そこで、酢豚の鶏肉版「酢鶏」は、いかが? 加熱しても栄養が損なわれないのが、きゅうり。添えの汁物には、味噌をだし汁(冷ましておく)で溶き、豆乳を加えたものにきゅうりとクコの実を浮かべた「冷やし汁」を。クコやクルミ、ゴマ、アーモンド、カシューナッツといった種実には老化防止、虚弱体質や糖尿病の改善、便通改善、がん予防の効能。麺料理には冷し中華のスパゲッティ版「中華スパ」。茹でたスパゲッティにゴマ油をからめ、すし酢とめんつゆ(2:1)をかければ、中華風。オリーブオイルでからめ、ドレッシング(しそ味、ゆず味、わさび味、しょうゆ味など)をかければ、洋風(和風?)に。その日の気分に合わせて「あなたの味付け」で、さあ召し上がれ!



私も応援隊

九州屋 第二事業部 副部長 JRブロック長
山本 勉さん
執行役員 関東商品政策部 兼 第二事業部 部長
中野 篤

夏秋きゅうりで重要視されるのは店での棚もちです。農家の方々におかれましてはお体に気を付けて、高品質のきゅうりを沢山出荷下さるようお願いいたします。

きゅうりを食べて健康体

ヒマラヤ山脈麓のインド北部が原産地の「きゅうり」。ヒマラヤ原産ゆえに高温に弱い。岩手は栽培の適地。夏から秋にかけての昼夜の大きな温度差がきゅうりの身を引き締め、歯ざわりの良いパリパリ感、シヤシヤキとした食感を生み出します。生育時には大量の水を必要としますが、岩手では北上川、馬淵川を水源とする県中地域、県北地域に産地が展開し、今や県下全域で栽培されています。こうした豊かな自然環境がみずみずしく高品質なきゅうり(しっかりと味と形)を育ててくれます。遅霜の影響がなくなる5月下旬から始まる露地栽培が中心で、その後は無加温の雨よけハウスによる栽培ですが、特にも夏秋きゅうりの主要産地として岩手は全国トップクラスのブランド力を誇っています。

きゅうり100g中に210mgも含まれているカリウムは成人が一日に必要なカリウム摂取量の10分の1にあたります。カリウムは体内の不要な塩分を排出し血圧を正常に保つ作用。むくみを取り、高血圧・腎臓病に効果。がん予防効果のカロチンやビタミンCも含まれ、体にもった熱を取り除き抗腫瘍作用があります。うりの青臭さには血栓を予防する効果もあります。

細胞イキイキ、老化を遅らす。応援レシピ

しただきょうりず!

料理監修/高橋ヒサ子
管理栄養士、健康運動指導士
特定保健指導実践者
いわて糖尿病療養指導士
HACCP(食品衛生危害分析)指導者
(公社)岩手県栄養士会理事

各部から最新情報をピックアップいたします。

各部発直行使



米穀部

いわて純情米『恋するおコメ』プロジェクトSEASON.4始動

『恋するおコメ』プロジェクトSEASON.4は、これまでのプロモーションを継続し、さらに進化させる事で、プロジェクトの取り組みをより深く認識して頂き、県内外の全国の消費者に共感して頂けるブランド(プロジェクト)として定着させていきます。

SEASON.4の取り組みの一つとして、全国に130のスタジオを展開する「ABC Cooking Studio」へ「恋するおコメ・岩手ひとめぼれ」を納入し、お米料理のレッスンで使用してもらうことで知名度向上に努めてまいります。

また、同クッキングとタイアップし、田植え・稲刈りツアーの企画、会報へのレシピ掲載、調理動画配信を展開することで、幅広い層へのPRを行います。

『恋するおコメ』プロジェクトでは、昨年に引き続きfacebookページにて岩手県産米情報を発信してまいります。

「お米で日本の女性をもっとキレイに」みなさん、ぜひ見て下さい!

(純情米販売課)

畜産酪農部

豚流行性下痢(PED)緊急対策事業の実施について

- 1. 目的**
今般、全国で猛威を振るっている豚流行性下痢(PED)が本県でも発生したことを受けて、県内の養豚場では本病の蔓延、侵入を防止するため、防疫体制を強化に取り組んでおります。
 - 2. 事業名: 豚流行性下痢(PED)緊急対策事業**
 - 3. 事業概要**
防疫のための薬品、資材購入に対する経費の一部を助成する。
(1) PEDワクチン : 1母豚当たり250円を上限
(2) 高圧洗浄機 : 1会員当たり30,000円を上限
(3) 踏込消毒槽 : 1会員当たり5,000円を上限
(4) 消毒液 : 1会員当たり8,000円を上限
 - 4. 事業対象期間** : 平成26年4月1日から平成27年1月31日まで
 - 5. なお、会員農家であっても次の農場は対象外といたします。**
系統組織が運営する農場
 - 6. その他**
申請の際に購入が確認できる書類の写しが必要となりますので、保管をお願いいたします。
- (畜産統括課)



北東北石油事業所

いわてJA-SSポイントラリーキャンペーン実施中!

JA-SSのPR並びに新規利用者の獲得・固定客の維持・油外商品の販売拡大を目的に、平成15年にスタートし、今年で12回目をむかえております。

いわてJA-SSチェーン会員44SS(6/1現在)で、ポイントラリー「元気満タンJA-SSプレゼントキャンペーン」を実施中です。当選賞品はA賞「温泉ペア宿泊券ご招待」30組60名様・B賞「いわちくギフトセット」250名様と、ドド〜んと計310名様に当たりますので、たくさんのご応募をお待ちしております。

応募方法など詳しい内容は、店頭のパスターならびにJA-SSスタッフにお問合せ下さい。



給油はもちろん、タイヤ、オイル交換のことならJA-SSへ!

2013 これからも「純情産地いわて」を応援します!

いわて純情むすめ卒業

ピンクの衣装でいつも元気いっぱい素敵な笑顔。「純情産地いわて」のPRに全国を飛び回った「2013いわて純情むすめ」は今月末で卒業を迎えます。1年間、本当にお疲れ様でした。



安倍 愛理

岩手県の農業関係者全ての代表との意識を持ち、生産から流通の各過程で岩手県産農畜産物のPR活動を展開してまいりました。近畿、東海、関東では行く先々で「岩手産は品質が高い」と絶賛され、生産者をほめてくれる関係者様の努力の成果が高い評価となって現れていることに喜びと誇りを感じました。

国内各地で岩手の農業を盛り上げ消費拡大を目指して多くの方々が精進され、その一員として活動できたことを光栄に感じており、多様な職種、幅広い年齢層の方々とのお出合いが貴重な経験となりました。JA全農いわてに関係する皆様お世話になりました。「純情むすめ」に手伝ってもらった良かったと思っていただけから幸いです。ありがとうございました。



羽上 愛

認定を受けてから1年間で市場やスーパーでの活動ラジオ、テレビ、ステージの活動など様々な経験をさせていただき、学ばせていただきました。思い返してみるとお客様にうまく伝えられず悔しい思いをしたこと、美味しいと褒められて嬉しかったこと、歌と一緒に歌って帰れる人や踊ってくれる人が増えて感動したことなど沢山の思い出が蘇ります。正直言うとまだ辞めたくないです。来年も再来年もずっとやりたい!!私は社会人ですので、仕事をしながらの純情むすめで不安は沢山ありますが、周りの方々の協力によって1年間を突っ越すことができました!支えてくださった皆様、一緒に頑張ることができた純情むすめの皆、本当にありがとうございました。



下夕村 真智子

私がいわて純情むすめになる前のことです。いわて短角牛の生産者の方と交流する機会を持つことができ、直接生産者の方の農畜産物の思いについて聞きながらお肉を食べたこと、格別においしいと感じました。そのように、若手の方々に生産者の方々の思いを知ってもらったこと、消費者の農畜産物をより多くの方に手にしてもらうためのいわて純情むすめとして県内外の様々なPR活動を行ってきました。なかも、岩手から遠く離れた大阪のあるスーパーでお米の販促活動を行なった際、おいしかったこと、食べてみたいこと、皆さんの声を受けていたこと、嬉しかったこと、改めて純情産地いわてへの誇りが持てることができました。私たちが安心しておいしくお米やお肉野菜などを食べられるのは、生産者の方々の農畜産物の深く純情愛情と、口頃の努力があること、これをこれからも忘れずたいと思います。生産者のみなさん、おいしく農畜産物を食べてくださり本当にありがとうございました。



星 春菜

いわて純情むすめとして、また、MUSUME25として活動した1年間は本当に充実して楽しく幸せな時間でした。純情むすめとして全国に農畜産物をPRすることや歌って踊ってPR活動が出来て嬉しかったことです。認定されたとき、嬉しくて涙が止まらなかったです。また、東京や大阪などにも行き生産者の方々と一緒に活動出来たことも思い出です。県内活動、県外活動やステージ活動、CM撮影など書ききれないほど沢山の経験が出来ました!

この仲間と一緒に活動出来たことも忘れません。いわて純情むすめとして活動したことは私の一生の宝です。こんなに素晴らしい経験が出来たのは純情むすめだけだと思います。生産者の方々や職員の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。私はこれから、いわての農畜産物を応援していきます。1年間本当にありがとうございました。



福士 ひとみ

食べ物を取り巻く様々な状況が目まぐるしく変化している今、制服の赤は、生産者の方々からお預かりした熱意の色だとう覚悟でPR活動にあたりました。あまりにも当たり前で、ともすれば暖かい言葉が「食べる」という行為、いわて純情むすめとして、岩手の農畜産物に寄り添ってきたこの1年は、その「食べる」を支える全ての事象に寄り添った1年でもありました。食べ物のおもしろさ、「食べる」ことを取り巻く全ての人やモノの美しさを実感し、故郷岩手への感謝の気持ちには、とても深いものになっています。

1年間支えて下さった皆さん、一緒に活動した仲間、おかげさまでとても楽しかったです。ありがとうございました。



齊藤 咲紀

いわて純情むすめに認定されてからあっという間に1年が経ってしまいました。岩手県内はもちろんのこと、東京愛媛沖縄など様々な土地で岩手の農畜産物をPRして回る中で、「やっぱり美味しいな」「いつも食べたこと」「現地のお話を直接聞くことができて、こんなに離れた所で岩手産の物が愛されているのだと感じることができました。このような貴重な経験をすることができて、この1年間の活動をとても誇りに思います。

今年から始まったいわて純情MUSUME25の活動は私たちのような世代をターゲットに、より岩手の農畜産物を知らってもらうための取り組みでしたが、実際に身の回りの友人にも応援してくれたり、身を持って純情産地いわてが広まってるのを感じることができました。

私は1年間活動していく中で生まれてからずっと言ってきた岩手県に広大な自然や美味しい農畜産物があることを改めて感じてます。岩手県が大好きになりました。そして、1年間共に活動してきたメンバーやお世話になった全ての皆様に感謝しています。ありがとうございました。



橘木 志織

この1年間を振り返ると本当にあっという間で、人生においてこんなに濃い1年はないんじゃないかというくらい、いわて純情むすめとして素晴らしい1年間を過ごさせていただきました。いわて純情むすめの活動でいろいろな場に行きました。いわての農畜産物は何でも行っていいです。本当に愛されているというのを実感しました。また私自身も岩手の人や農畜産物の魅力を改めて知ることができました。

いわて純情むすめとして活動した1年間は私の一生の宝物です!これで純情むすめとしての活動は終わりますが、違う形でいわての農畜産物を応援していきたいと思えます。本当にありがとうございました!



田植え作業の様子



「構ってあげたくて仕方がない」と笑顔で答える青木さん



店内には焼きたてのパンの香りが漂います



こちらで作ったパンは一部地域の学校へも提供されています

米・小麦、 そして家族への愛情

水稲農家
青木 慶さん(38)



農業勇士の熱き情熱

AGRICULTURE!

農業を始めたきっかけは
アグリ平泉への参加

田植え作業真っただ中の青木さんの水田(平泉町)で、休憩時に農業の魅力と楽しさについて伺いました。

「農業は苦勞も多けれど、手をかければかけた分だけ結果として自分に返ってきます。そこに『やりがい』を感じるし、種まきから収穫まで、育てている過程のすべてを自分の目で確かめることができます。その一つ一つが楽しく感じられるんですよ」。また、将来の夢については、「農業情熱は厳しいけれども、地域に密着した形で将来にわたって農業を行っていきたい。一から十まで自分が携わることができると、やりがいのある農業」を、若い担い手の人たちと一緒に盛り上げていくこと。

水田に植えられた小さな苗が気持ち良さをそうに薫風にそよぐさまを愛おしそらに見つめ、語る青木さんです。

幻の小麦「コキコムギ」

青木さんが農業を始めたのは30歳のときで、現在は将来の地域農業を先導する担い手組織、農事組合法人アグリ平泉にも参加しています。こちらの法人では約57畝の広さで小麦の栽培もおこなっており、集団化された農地で、転作物の生産・販売も行っています。

丹精込めて育てた小麦は、アグリ平泉が管理する毛越寺門前産直あやめ内「さんいろばん屋」で使用されています。使われている小麦は3種類。ナンブコムギ、ユキチカラ、コキコムギ。特にコキコムギは県内ではほとんど栽培されておらず、一時は姿を消しつつあった「幻の小麦」と呼ばれています。こちらの小麦を使い、美味しいパンを作る一人が、青木さんの奥さん・由美子さんです。「パンに適した小麦を作ってもらっているのです、その特徴を生かせるように丁寧に愛情を込めて作っています」。口に入れてみると、もっちり・ふわふわの食感。コキコムギの上品な香りと甘みを感じられました。

JA 全農いわては生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋になります。

今回のインタビュー内容はJA全農いわてウェブサイトにも掲載されています。
詳しくはJA全農いわてホームページで。



いわて牛ブランドをアピール

4月21日(月)・22日(火)

第14回いわて牛後継者枝肉研究・研修会

東京都の東京都中央卸売食肉市場で、第14回いわて牛後継者枝肉研究会が開催されました。研究会には選りすぐりのいわて牛が出品され、上物率100%、枝肉重量でも平均500kgを超えるなど生産者の日々の努力の成果が表れる素晴らしい結果でした。

また研究会前日には、栃木県JAなすの管内の農場で研修をおこない、県外の一貫経営農場について学びました。枝肉研究会の結果については以下のとおりです。

最優秀賞	JA岩手ふるさと	千葉 慎一
優秀賞	JA江刺	平田 耕人
	JA岩手ふるさと	熊谷 翼
優良賞	JAいわて花巻	高田 直樹
	JA岩手ふるさと	佐々木 謙
	JA岩手ふるさと	初貝 良一



JAなすの管内農場での研修風景

りんごの花とピアノの優雅なひと時を

5月11日(日)

りんご畑deコンサート7

盛岡市黒川の松本りんご園で、りんご畑deコンサート7が開催されました。

このコンサートは1999年に初めて開催され今回で7回目。実行委員会は、地元の若者や農家、商店主らで結成されており、自分たちの暮らしている地域の素晴らしさや美しさを、りんご畑で聴くコンサートを通じて感じてほしいという願いを込めて準備をしました。

当日は、青空の広がる中、多くの来場者で会場は賑わい、りんごの木の下でピアノの調べに耳を傾けました。



青空とりんごの木のしたでコンサートを楽しみました

一致団結してTPP阻止へ!

5月12日(月)

TPP断固反対岩手県総決起集会

岩手県のJAグループや県生協連などからなるTPP(環太平洋連携協定)等と食料・農林水産業・地域経済を考える岩手県民会議は、岩手教育会館大ホールにてTPP反対を訴える総決起集会を行いました。

約500人が参加し、集会最後には、「政府がTPP交渉から撤退することを強く求めるとともに、くらし、食と農、地域を壊すTPP・EPAの断固反対に向け徹底して行動していく」という決議を採択しました。その後、参加者からは市内をデモ行進し、TPP反対を訴えました。



挨拶をおこなう田沼会長

今年も田植シーズン到来! 県内各地の田植えイベント

5月17日(土)

いわてのまんま田植えツアー

JA全農いわて米穀部はJA岩手ふるさととライスフレンド株式会社と共同で田植え体験イベントを開催しました。

イベントには関西販売店のパイヤー約20人と生産者やいわて純情むすめが参加し、JA担当者の指導を受けながら田植え体験をしました。

栽培されたお米は収穫後、「岩手のまんま」として近畿圏のスーパー、量販店、生協、米穀店で販売されます。



田植え体験の様子

5月18日(日)

「たかたのゆめ」田植え式

JAおおふなとや陸前高田市は、陸前高田市内水田にて「たかたのゆめ」田植え式を開催しました。

農業復興の象徴としてスタートしたオリジナル米「たかたのゆめ」は、日本たばこ産業が独自開発した「いわた13号」で、粘り気がありもちりとした食感で、ほのかな甘みの特徴です。今年の作付面積は58ヘクタール、生産量は150トンと前年より規模を拡大し、観光客向けの食堂での提供や、米粉を使ったスイーツの開発なども今後検討していきます。



陸前高田市マスコット「ゆめちゃん」も駆けつけました

5月19日(月)

ユーコープ連合会田植え交流会

JA全農いわて米穀部はJA岩手ふるさとと、ユーコープ組合員参加の田植え交流会を行いました。田植え体験の前に、栽培に関する厳しいチェック項目の講習を受けた参加者は県産米の品質の良さを実感していました。

5月20日(火)

ABC Cooking Studio 田植え体験

JA全農いわて米穀部はJAいわて中央と、ABC Cooking Studio生徒25名参加の田植え体験を行いました。岩手県産ひとめぼれは、全国のABC Cooking Studioで使用されており、

今回のイベントも岩手県産米に対する親近感を持ってもらえればと企画されました。

料理レッスンでは「恋するおコメプロジェクト」とレシピタイアップをするなど、全国28万人の生徒に対して、岩手県産米を食べてもらおう機会を創出しています。



最後は全員で記念撮影

5月23日(金)

渋民小学校田植え体験

盛岡市玉山区渋民の圃場では、盛岡市立渋民小学校5年生が田植え体験を行いました。

この田植え体験は、JA全農いわてとJA新しいわて、イオンスーパーセンター(株)が共同で主催しており今年で6年目になります。田植えが初めての生徒も多く、足を取られながらも一生懸命に作業を行いました。秋には稲刈り体験も予定されており、米づくりの面白さや大変さを1年間かけて学んでいきます。



指導を受けながら田植えをする児童

純情人

JA全農いわての
じゅん じょう びと



資材部 エネルギー課
柿崎 龍さん(22歳)

趣味・特技

車の運転です。最近国見峠辺りを主に走っています。もちろん法定速度内です。あの今にも崩れ落ちそうな道がたまに好きです。他にも、外山方面、アスピーテライン等、直線よりも曲りくねった道を好みます。
あとは、バイクが好きですが現在車検が切れたままで乗れないため、落ち着いたら車検を取って乗ろうと思います。

現在の担当業務

LPガスの伝票処理が主な業務です。岩手クミアイプロパンセンター等から県内の各JA管内へ出荷されたLPガスの代金の請求をしています。また、LPガスの推進活動は新しいわての北部を担当することになっていますが、この業務についてはこれから本格化していく見込みです。

仕事をしてみて感じたこと

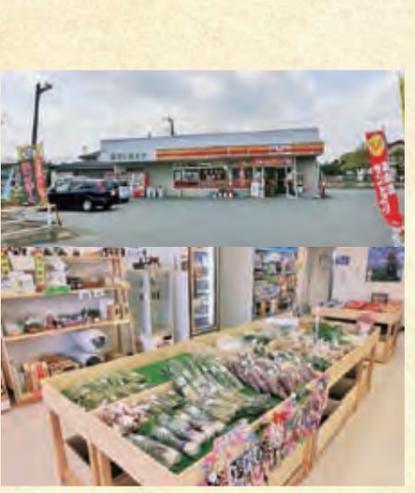
最初、LPガスのイメージは「価格が高い」でしたが、現在、電気の価格も高くなったり供給が不安定になることが予想されること、LPガスと太陽光発電の組み合わせの効率の良さを知り、これから胸を張ってLPガスを推進していきたいと思いました。

5~10年後の自分を想像して

実家を取り壊し新しく建て直せたらと思います。一階をガレージ、2階、3階を居住スペースにしたいです。現在、実家の駐車場は水はけがとても悪いため、車の足周りが錆びないか心配しています。



及川代表理事



コンビニと産直コーナー

イーハートリーブの担い手便り

純情産地の創造者たち

「農業生産法人のステップアップ岩崎農産」

農事組合法人 岩崎農産(北上市町)

地域農業の中心経営体として法人化

農事組合法人岩崎農産が所在している岩崎地区は、水稲を基幹とした水田単作地帯で野菜や花き等の園芸品目を組み入れた複合経営が行われており、北上市の南西部に位置した夏油川流域にあります。

同法人は、北上駅から西に約6km、秋田自動車道の南北に面した農業集落を主なエリアとしており、平成12年に地域内の転作の受け皿として認定農業者8名で岩崎麦大豆生産組合が設立され、活動して来たのが母体となっています。平成19年度から始まった経営安定対策に対応するため、法人化を目指した構成員3名と新たに賛同した2名を加えて平成19年4月3日に農事組合法人岩崎農産を設立し、地域内の転作の受け手として地域の水田農業経営を側面から支えて来ました。

現在、法人の構成員は4名で80戸の農家と受委託契約を締結して、地域内の水田転作を一手に引き受け、平成25年の経営面積は77畝(利用権設定15畝で、小麦26畝、大豆29畝、そば10畝の栽培と、畜産農家の粗飼料の確保を目的に牧草地11畝管理し、家畜の飼料生産を担っています。

転作中心の農業経営の現状

農業経営は畑作物の生産・販売を目的に、小麦と大豆各々3年間連作して転換の間作にそばを導入、小麦プラスそばの1年2毛作栽培を行っています。

パークロップ栽培技術を導入し、化学肥料及び化学合成農薬の低減による環境保全型農業に取り組んでいます。「小麦十そば十大豆」の輪作体系を確立し、殊にも、大豆の不耕起播種栽培技術の導入などによる低コスト生産の取組みや地域農業の担い手としての活躍が評価され、平成21年度いわて農林水産賞賞状ある担い手賞を受賞するなど、法人の活動が高く評価されています。

組織体制は代表理事と理事3名に加えて雇用職員2名とパートタイマー5名のオペレーターにより農業生産を担っています。

生産・販売・地域貢献

法人設立後8年目となりますが、昨年、地域内にある商店が経営を中止することから地域内にコミュニティビジネス企業が必要であるとの考えに基づき、農業生産法人の同族会社として株式会社岩崎商事を平成25年4月に設立し、産直施設とコンビニエンスストアの機能を持たせた「産直いわさきヤマザキショップ(北上岩崎店)」を7月にオープン、地元産野菜やきたかみ牛肉、一般食料や生活用品等を販売し、地域農業生産者への直売施設の提供と地元消費者の生活用品などの確保に便宜を図っています。今後は自ら産直で販売する農産物の生産直接販売などの営業活動の取組みを強化することとしています。



春の作業(サブノイラー)



新人職員斎藤和人さん



TAC活動(事務所内)

及川代表理事は若手アグリフロンティア・スクールで経営学を学び、アグリ管理士として企業的な農業経営の確立を目指して農政の大転換を乗り越えようという意欲的であり、活躍が期待されます。

農政の大転換、企業経営を目指して

水田転作の受け皿組織として生産組合が設立されて以来14年が経過し、今後米の生産調整が廃止されるに当たり食用米の生産と野菜など収益性の高い作物の導入や販路開拓などの検討が成されております。

具体的には大豆乾燥機を活用した二シク栽培に今年度から取組むことや、平成27年から食用米生産を行うために水稲生産の機械・施設の整備を進めようとしています。

また、構成員の高齢化に伴う法人組織の見直しがあったためであり、転作の受け皿組織から企業的な農業生産法人に転換するために、雇用による農業生産法人を目指して本年4月から「農の雇用事業」を活用して農大卒業生1名を雇用、農事組合法人から株式会社化に向けた体制の整備に着手しました。

農事組合法人 岩崎農産の経営概況

- 代表 表：代表理事組長 及川仁一(40歳)
- 設立 立：平成19年4月3日
- 所在地 地：北上市和賀町岩崎29-38-1
- 組合 員：4人
- 出資 金：500万円
- 経営 面積：平成26年計画(小麦 26ha、大豆 30ha、そば10ha、牧草10ha)
- 施設 機械：事務所1棟、機械格納庫(兼倉庫)2棟、産直店舗(コンビニ)、トラクター8台、汎用コンバイン3台、ブームスプレヤー2台、播種機1台、ロールペーラー1台、モアコンディショナー1台 等

◎林風舎

INFORMATION

お知らせ

病害虫のまん延防止にご協力をお願いします

沖縄県、奄美群島、トカラ列島、小笠原諸島にはサツマイモなどに被害を与える害虫が、また、沖縄県、徳之島、沖永良部島、与論島にはカンキツ類などに被害を与える病気が発生しています。

これらの病害虫のまん延を防止するため、一部の植物などは、植物防疫法により対象地域からの持ち出しが規制されています。違反すると罰せられることがありますので、ご注意ください。

詳しくは、農林水産省植物防疫所ホームページをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/pps/>

移動規制の対象地域	持ち出せないもの	
	植物の例	病害虫
奄美群島 トカラ列島 小笠原諸島	サツマイモ・紅イモなど、ヨウサイ(ウンチューバー)、アサガオ、ゲンバイヒルガオ、モミニバヒルガオなどの生茎葉、地下部	アリモドキゾウムシ イモソウムシ サツマイモノメイガ アフリカアイマイ
沖縄県全域	カンキツ類、ゲッキツ、オオバゲッキツ(カレーリーフ)、サンカケミカン、ワシなど生植物	カンキツグリーンング病菌 ミカンキジラミ

後編記集



今月号より新企画「Agriculture!」がスタートしました！今回の企画は若者がターゲットに、岩手の農業に興味・関心を持ってもらうため、これからの農業を担う若手農家さんにスポットを当て、農業に対する情熱や信念、プライベートなどをスタイリッシュにかっこよく描くものになっています。

テレビ番組との連動企画で毎週日曜21時54分〜22時まで同タイトルで放送していますので、是非そちらもご覧ください！ (岩本)

2014

オールいわて

農業機械

フェア

JA 農業機械大展示会

同時開催 JAさなぶりinえさし 自動車展示会 JA特選車勢揃い

6/13(金) 14(土)

とき：AM9:00～PM4:00
会場：JA 江刺本所前特設会場

農作業安全講習会
復興応援! 中古農業機械各種展示
家庭菜園応援! 野菜作り応援コーナー

【イベント】
無料ドリンクコーナー
もちつき! お振る舞い
昔懐かしい発動機の展示・実演

【展示内容】
刈払機講習会
管理機(ガス・電気)展示・実演
JAグループ独自型式・重点型式農機展示
無人ヘリコプターの展示・飛行実演
中古農機展示
レンタル機展示(JA全農いわて)
各社農業機械、フォークリフト展示
リース、信用相談コーナー設置
生産資材部門の展示

当日は
アドバルーンを目印に
ご来場下さい。

ご来場の方に
受付にて、
もれなく花の苗
プレゼント!

主催 / JA いわてグループ・JA 全農いわて



私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

私たち全農グループは、
**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**
になります。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。